

入院・育児物品の準備はお早めに

出産する医療機関によって、入院時に必要なものは異なるので、医療機関からもらう入院案内を参考にしましょう。出産予定日の季節によって準備するものが違ったり、産後すぐには必要でないものもあります。妊娠中に、赤ちゃん用品店やお近くの薬局等へ何回か通って、どんなものが売っているか見ておきましょう。最初は最低限のものでOK！その後必要になったときに買い足していきましょう。



●赤ちゃんのお世話に必要なもの●

- **新生児用オムツ**
すぐにサイズアウトするので、まずは1パック程度でOK

- **おしり拭き**

- **おむつを捨てるゴミ箱**
におい対策のため蓋つきがおすすめ。

- **肌着（短肌着・コンビ肌着 等）**

- **洋服（カバーオール等）**
赤ちゃんの成長は早いので、枚数は必要最低限（3セット程度）でOK。

【組み合わせ例】

春秋
短肌着
（必要に応じて）

+

コンビ肌着

+

長袖カバーオール

夏

コンビ肌着

もしくは

半袖カバーオール

（真夏は暑いので、基本
1枚の着衣でOKです。）

冬

短肌着
（必要に応じて）

+

コンビ肌着（厚手のもの）

+

長袖カバーオール



コンビ肌着は股部分にスナップボタンがついている肌着です。肌着がはだけにくく、抱っこしやすく便利です！

気温や洋服の生地、赤ちゃんの様子などを考慮して組み合わせや枚数を調整しましょう。

- **ベビーベッドやベビー布団**

ベッドに寝かせるのか床に布団を敷いて寝かせるのか、家の状況に合わせて準備しましょう。

窒息を予防するために…

- ・赤ちゃんを寝かせるマットや敷布団は固めのもの（沈み込まないもの）を準備しましょう。
- ・掛布団は赤ちゃん用の軽いもの（またはスリーパーなど）を利用するようにしましょう。
- ・赤ちゃんの周りにはタオルや枕などは置かないようにしましょう。
- ・親や兄弟の布団が誤って赤ちゃんにかからないように、スペースを確保しましょう。

●授乳に必要なもの●

- **哺乳瓶・乳首・洗浄や消毒用品**
授乳状況によってはいろいろな場合もあります。

- **ミルク（粉・キューブ型・液体）**
授乳状況をみながらタイプを選びましょう。

- **電気ケトル等**



●沐浴用品●

- **ベビーバス**

使用期間が1か月程度と短いため、衣装ケースで代用してもOK。洗面所や台所のシンクを使用してもOK。

- **ベビーソープ**

赤ちゃんの肌は敏感なため、泡で優しく洗えるものがおすすめ

- **バスタオル**

おくるみにも使用できます。



●その他様子を見ながら●

- **チャイルドシート**

赤ちゃんを車に乗せる場合、退院するときから必要です。

- **抱っこひも**

実際に試着して、使いやすいものを購入しましょう。

- **ベビーカー**

赤ちゃんを外出する頃に検討しましょう。

- **ガーゼ**

赤ちゃんの汗や口まわりを拭いたり、沐浴で使ったりします。

- **保湿剤（ベビーローション・ワセリンなど）**

赤ちゃんの乾燥が強いときに使用を検討しましょう。

- **赤ちゃん用綿棒（耳・鼻そうじ用）**

- **ベビー用の爪切り**

深爪に注意しましょう。切るのは爪先の白い部分が1mm残る程度まで。

- **お出かけ用のミルクセット**

哺乳瓶・液体やキューブ型のミルク
湯を入れる保温水筒など



人によって合うものはさまざま！実際に試着してから購入を考えましょう

